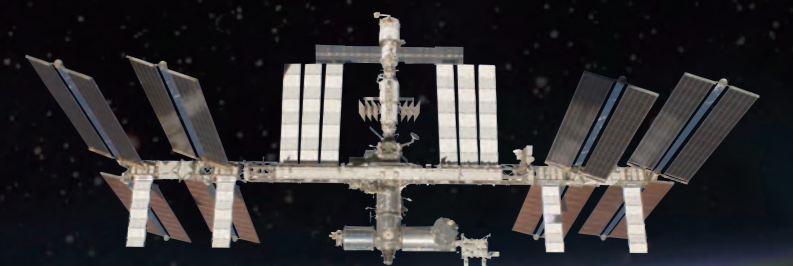




第38次／第39次 国際宇宙ステーション長期滞在

JAXA宇宙飛行士

若田 光一



「夢・探究心・思いやり 和の心を大切にし、軌道上の宇宙飛行士たち、そして各国の地上管制局の仲間と力を合わせ、ISSの大きな成果を創出できるよう頑張ります」

第39次 ISS 船長(コマンダー)

・博士(工学) ・好きなスポーツ：野球

▶ 第38次/第39次長期滞在 若田宇宙飛行士ミッションロゴ

国際宇宙ステーション(ISS)第38次/39次長期滞在ミッションのJAXAロゴは、若田宇宙飛行士が好きなスポーツである野球のボールをモチーフにデザインしました。地球と宇宙に向かう2つのベクトルを野球ボールの縫い目に見立て、地球と宇宙の狭間でISSがその役割を担っていることを表しています。中央に配置された「和」という言葉には、若田宇宙飛行士が日本人初、アジア人初のコマンダー(船長)として多くのミッションをまとめることへの期待が込められています。黄色いラインは宇宙環境の利用が地球に還元する多くの成果・希望の光を、赤いラインは将来の宇宙開発や深い宇宙解明への期待・情熱を表現しています。



1963年

埼玉県生まれ。

1983年 4月

九州大学工学部に入学、航空工学を学ぶ。

1989年 4月

日本航空に入社。技術者として勤務する。

1992年 4月

宇宙飛行士候補者に選ばれる。

同年 8月

米国航空宇宙局(NASA)の宇宙飛行士養成クラス(第14期生)に参加。

1993年 8月

日本人で初めてミッションスペシャリスト(MS)として認定される。

1996年 1月

STS-72ミッションに日本人初のMSとしてスペースシャトルに搭乗しロボットアーム操作を担当。

2000年10月

STS-92ミッションに搭乗。日本人で初めて国際宇宙ステーション(ISS)建設に参加し、ロボットアーム操作を担当。

2000年12月

NASAロボティクス教官宇宙飛行士に認定される(日本人初)。

2006年 7月

「宇宙飛行のリハーサル」と言われる海底での訓練、NASA極限環境運用(NEMO)でコマンダーを担当。

2009年 3月
～7月

第18次/第19次/第20次ISS長期滞在クルーとして日本人初のISS長期滞在。

2010年 3月

NASA宇宙飛行士室ISS運用ブランチのチーフ就任。日本人初のNASA管理職。

2011年 2月

ISS第38次/第39次長期滞在クルー(第39次ではコマンダー)に任命される。

2013年11月

ISS第38次/第39次長期滞在ミッションを開始。



幼少期



小学5年生



NASA宇宙飛行士養成クラスに参加



STS-72クルー



スペースシャトルのフライトデッキに集うSTS-92クルー



「きぼう」で実験を行う若田宇宙飛行士